



会計・人事給与システムとしての操作性・使い勝手は、
NXシリーズで飛躍的に向上したと高く評価しています



日本システムウエア株式会社

SuperStream への揺るぎない信頼感を背景に最新バージョンへ移行
四半期決算と年末調整を問題なくクリアすると共に業務効率の向上を実感



会社情報

本社
東京都渋谷区桜丘町 31-11

従業員数
単独 1,726 名 連結 2,218 名
(2020 年 3 月末現在)

Web サイト
<https://www.nsw.co.jp/>

資本金
55 億円

事業内容

- IT ソリューション
- サービスソリューション
- プロダクトソリューション

導入ソリューション

- SuperStream-NX 統合会計
- SuperStream-NX 固定資産管理
- SuperStream-NX 人事管理
- SuperStream-NX 給与管理

導入の背景

長年、経理部門および人事部門で利用する
業務システムとして SuperStream を愛用

日本システムウエア株式会社は、東京・渋谷に本拠を構える独立系 SI 企業。創業以来 50 年以上の歴史を持ち、さまざまな業界の企業向けにシステム構築やデータセンターサービス、組み込み系の設計・開発などのソリューションを提供するほか、近年では IoT や AI といった分野にも力を入れている。そんな同社では長年、経理部門および人事部門で利用する業務システムとして SuperStream を愛用してきた。1999 年に SuperStreamGL シリーズを導入した後、2008 年にはこれを SuperStream-CORE シリーズに移行。同時に、人事・給与の基幹システムとしても SuperStream-CORE シリーズを新たに導入した。その使い勝手について、同社 コーポレート本部 経理部長 吉原 貴之氏は次のように振り返る。「財務会計に関しては非常に機能が充実しており、弊社の経理業務に必要な機能をすべて標準で満たしていたためノンカスタマイズで導入・利用していました。使い勝手や安定性、性能に関しても特に不満はありませんでした」また同社 コーポレート本部 総務人事部 マネージャー 金丸 博孝氏によれば、人事・給与に関しても導入時に一部アドオン開発を行ったものの、SuperStream-CORE シリーズの機能に大きな不足や不満を感じることはなかったという。「退職金関連や離職票の作成といった業務のために、データベースから直接データを引っ張ってくるアドオンプログラムを開発しましたが、それ以外は特に使い勝手に問題はなく、極めて安定して稼働していました」

しかし長年使い続けてきた SuperStream-CORE シリーズも、ついに 2020 年いっぱいサポートが終了することとなる。

導入前の課題

SuperStream-CORE シリーズの後継として
何の迷いもなく SuperStream-NX を選択

SuperStream-CORE シリーズのサポート終了の旨が発表され、同社では早速次期システムの検討に入ったが、会計／人事・給与ともに後継製品の SuperStream-NX への移行方針が早々に決まった。その理由について、吉原氏は「既に SuperStream-CORE シリーズを中心に経理業務やシステム連携を構築しており、これまで長く使い続けてきた中で大きなトラブルもなかったため、今さら SuperStream 以外の製品に乗り換える必要性を感じませんでした。そのため、SuperStream-NX 以外の製品の採用を検討することはありませんでした」と述べる。また金丸氏も同様に、「人事・給与に関して SuperStream-CORE シリーズに何の不満もありませんでしたから、SuperStream-NX 以外の製品を検討することはありませんでした」と述べ、長年に渡る SuperStream-CORE シリーズの利用を通じて培われた高い信頼感から、後継製品である SuperStream-NX への移行はごく自然な流れだったという。

システム選定と導入

ログインし直さずプロダクトを行き来できるように業務効率が大幅アップ
サポート終了が発表された翌年から、SuperStream-CORE シリーズから SuperStream-NX への移行作業が本格的にスタートした。移行プロジェクトには経理部門と人事部門のメンバーのほか、情報システム部門のメンバーも加わって共同で作業を進めていった。人事・給与に関しては、SuperStream-CORE シリーズと SuperStream-NX のデータベース構造にそれぞれ違いがなかったため、かなりスムーズに移行することができた。同社 コーポレート本部 総務人事部 主任 笹尾 希氏は、ユーザテストの様子を次のように振り返る。「ユーザテスト用の端末を 1 台お借りして、それを使って皆で SuperStream-NX の使い勝手を確認してみました。メニューの名前などは SuperStream-CORE シリーズから変わっていませんでした。一部の操作は



Interviewee

吉原 貴之氏
日本システムウエア株式会社
コーポレート本部 経理部
部長



野口 麻美子氏
日本システムウエア株式会社
コーポレート本部 経理部
副部長

仕様が変わっていましたが、いろいろ操作を試したり、画面を辿っているうちにすぐコツがつかめました」こうして得たナレッジを部署内で適宜共有することで、比較的教育コストもかからなかったという。

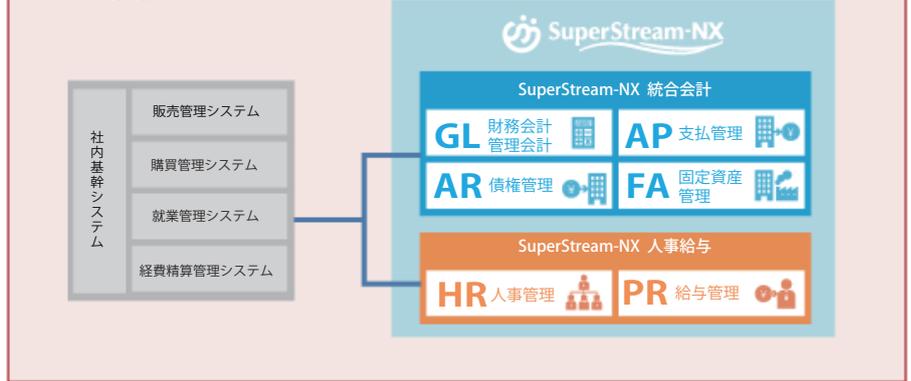
一方、会計に関しては、SuperStream-COREシリーズとSuperStream-NXとでデータベース構造に変更が加えられたため、マスターデータベースの設定作業には若干の手間が掛かったという。同社コーポレート本部 経理部 副部長 野口 麻美子氏は、「SuperStream-CORE シリーズはできることに限りがあった分、マスターデータベースもシンプルでした。しかしSuperStream-NXになり得ることが増えた分、マスタも複雑になったため、その構造を理解して正しい設定を行うのに少し時間がかかりました」と述べる一方、現場ユーザにとっての使い勝手はSuperStream-NXになってかなり向上したと高く評価する。「これまでSuperStream-CORE シリーズでは、例えば統合会計から固定資産管理に切り替える際にいちいちログインし直さなくてはなりませんでしたが、しかしSuperStream-NXではログインし直すことなくそのまま切り替えられるようになり、かなり作業効率が上がりました」また笹尾氏によれば、人事・給与においても同様のメリットを感じたという。「本社と子会社の給与計算を切り替える際や、人事管理から給与計算に切り替える際にやはりログインし直す必要がなくなり、とても楽になりましたね」

導入効果

SuperStream-NXへ移行直後の四半期決算と年末調整を問題なくクリア

こうして2020年11月、同社はSuperStream-NX統合会計およびSuperStream-NX人事給与の運用を同時に開始した。経理部門では運用を始めて早々に四半期決算を迎えることになったが、移行したばかりのSuperStream-NXで無事乗り越えること

システム概念図



ができたという。「操作性が変わったことや、マスタの設定を大きく変えたことで何か問題が発生するのではないかと多少の不安はありましたが、実際にやってみると大きなトラブルもなく無事四半期決算を終えることができました」（吉原氏）

またSuperStream-NXの利用を始めてすぐ、細かな使い勝手の面でかなりの進化を遂げていることが分かった。例えば試算表から特定の数値にすぐアプローチできる「ドリルダウン機能」や、会社ごとに画面の色分けができる機能はとても重宝しているという。またSuperStream-COREシリーズはクライアント・サーバ型のシステムであるため、PC端末1台1台でバージョンアップ作業が必要であったが、SuperStream-NXではサーバをバージョンアップするだけで済むため、システム運用保守の効率化に大きく寄与しているという。

一方、人事・給与の方は、SuperStream-NXへの移行直後に年末調整業務を迎えたが、これも問題なく終えることができた。「税制が変わっていることもあって正直当初は不安もありましたが、実際にやってみると新たな税制にも問題なく対応でき、無事年末調整を終えることができました。日々の給与計算に関しても、これまで同様に問題なく処理できています」（笹尾氏）またSuperStream-COREシリーズを使っていたころから、CSVファイルを通じて外部のさまざまなシステムとデータ連携を行っていたが、SuperStream-NXに移行後もマスターデータベースの構造が変わっていないため、外部連携インタフェースもそのまま引き継ぐことができた。

今後の展望

今後はSuperStream-NXを利用するだけでなくパートナーとして顧客に提供していく一方会計に関しては、これからいよいよ年度末決算を控えており、まだ試していないさまざまな機能を総動員することになるため「これか

らが本番」だという。「年度末決算で一通りの機能を使うことになると思うので、私たちもいよいよSuperStream-NXを本格的に使いこなすステップに進むことになります。ただし、単にSuperStream-COREシリーズから踏襲した機能を従来通り使うだけでなく、SuperStream-NXで新たに加わった機能も今後は積極的に使いこなしていきたいと考えています」（吉原氏）

また今後は、これまで利用してきた紙の帳票を電子化した上で、SuperStream-NXの「証憑管理オプション機能」を使って伝票に添付するような運用が実現できれば、業務のペーパーレス化が促進されるとともに、テレワークの推進にもつながるのではないかと期待しているという。さらに電子申告や、消費税の異常値チェックといった機能も今後は積極的に活用していきたいとしている。

人事・給与に関しても、金丸氏は「社内のワークフローシステムや原価管理システムなどとデータ連携することで、業務の自動化や効率化をさらに推し進めていきたい」と、SuperStream-NXの活用の幅を広げていきたいと抱負を語る。

また同社は、SuperStream-NXのユーザとしてだけではなく、同製品の開発元であるスーパーストリーム社の「テクニカル・パートナー」として、SuperStream-NXの導入支援ソリューションを展開している。しかも単に製品の導入を支援するだけでなく、ユーザ企業の業務やニーズを事細かくヒアリングし、それにマッチした形にカスタマイズを施した上で導入できるという。そのために現在、SuperStream 技術者認定の取得も社内を進めているところだ。「今後はぜひユーザとしてのみならず、ビジネスパートナーとしてもスーパーストリーム社と深いお付き合いをさせていただければと考えています。既に弊社の商談にさまざまな形で支援いただいております。今後もよきパートナーとしてお客様に価値のあるソリューションを届けていきたいと思っております」（吉原氏）



Interviewee

金丸 博孝氏
日本システムウエア株式会社
コーポレート本部 総務人事部
マネージャー



笹尾 希氏
日本システムウエア株式会社
コーポレート本部 総務人事部
主任



スーパーストリーム株式会社
〒140-8526 東京都品川区東品川2-4-11 野村不動産天王洲ビル
TEL : 03-6701-3647 FAX : 03-6701-3641 E-mail : ss-info@superstream.co.jp
www.superstream.co.jp

お問い合わせ